

令和元年（2019年）12月2日

令和元年度金沢市議会12月定例月議会 市長提案説明

本日、ここに各位のご参集をいただき、令和元年度金沢市議会12月定例月議会が開かれますに当たり、市政の概況と提出議案の概要につきまして、ご説明を申し上げます。

これに先立ち、本年5月、天皇陛下が御即位され、先月までの間、これに伴う一連の公式行事がつつがなく執り行われました。金沢市長として、改めて、慶祝の意を表しますとともに、令和の時代における我が国の繁栄を心から願い、引き続き、市勢の発展と市民福祉の向上に、全力を挙げて取り組んでまいります。

【市政の概況】

さて、先の台風19号をはじめとする、度重なる大雨等により、各地で甚大な被害が発生いたしました。犠牲になられた方々に対し、哀悼の意を表しますとともに、被災された多くの皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。併せて、被災地の一日も早い復旧・復興を、お祈り申し上げます。

本市といたしましても、災害ごみ集積場の管理や避難所の運営にあたる職員を派遣するなど、被災地への支援に取り組んでいるところであり、今後とも、なし得る限りを尽くしてまいりますとともに、改めて、災害への備えに万全を期してまいらねばならないと考えております。

まずは、第二本庁舎における危機管理センターの明年5月の開設に向けて、情報の収集・発信の要となる防災情報システムの整備に拍車をかけてまいりますとともに、水害ハザードマップの作成を急いでまいりますほか、8月の大雨で被災した河川等の復旧費や、土砂等の浚渫にかかる経費を、今回の補正予算に計上いたしました。

また、新たな避難行動要支援者名簿が、先般完成いたしましたので、個人情報の適正管理に努めながら、年内にも自主防災組織等へ名簿を提供し、災害時に支援が必要な方への備え

を充実させてまいりますほか、大桑地区における地域住民と外国人との協働による避難訓練の実施や、多言語に対応した防災情報ホームページの作成など、年々増加する外国人の避難対策にも鋭意取り組んでいるところです。

加えて、10月末に発生した世界遺産・首里城の火災を受けて、先般、文化財に指定されている建造物等の特別査察を実施し、防火管理体制の確認と関係者への注意喚起を行ったところであり、併せて、重要伝統的建造物群保存地区における、防火水槽の設置や防災強化計画の策定を急ぐなど、歴史文化資産の防火対策に取り組んでまいります。

さらに、先月26日、非常時の発電機能や感染症への対応を強化した中央消防署小立野出張所を開所するとともに、今月15日には、金石消防署三和出張所において、本市で10隊目となる救急隊を設置するなど、消防・救急体制の強化を図ったところであり、引き続き、まちの防災力の向上と市民生活の安全・安心の確保に努めてまいります。

一方、昨今多発する大型台風や局地的大雨は、地球温暖化に伴う世界規模の気候変動に起因するとも言われておりますことから、市としても、ごみの減量化等を通じた温室効果ガスの排出抑制に、市民の皆様と共に、一層取り組んでまいらねばなりません。そのため、この10月に取りまとめた次期ごみ処理基本計画の骨子案について、先月、市民会議やパブリックコメントを実施したところであり、いただいたご意見等を参考にしながら、年度末の策定をめざしてまいります。

他方、先の大雨では、長野市内の新幹線車両センターが浸水し、一時、北陸新幹線が不通となりました。幸い、先月末、東京・金沢間の定期列車の運行ダイヤが復旧したところではありますが、ビジネスや観光など様々な分野への影響を踏まえると、北陸新幹線の重要性和代替補完機能の必要性を再認識したところであり、引き続き、大阪までのフル規格による早期全線整備に向けて、関係自治体等と連携してまいりますとともに、金沢以西に延伸される並行在来線につきましては、生活交通としての利用者負担に配慮しながら、安定的な経営及び安全な運行の確保に向けて、県や関係市町等と協議を重ねてまいりたいと考えております。

加えて、北陸新幹線の延伸やリニア中央新幹線の開業を見据え、市として戦略的な取り組みを進めていく必要がありますことから、先般開催した検討会議で取りまとめた施策の方向性に基づき、年度内を目処に、行動計画を作成してまいりますほか、今後進展する、人口減少や少子高齢化に対応していくため、地域と多様な形で関わりを持つ人々、いわゆる関係人口の増加やSDGsの推進等の視点を取り入れた第2次金沢版総合戦略の策定作業にも、鋭意取り組んでまいります。

さて、我が国経済は、緩やかな回復基調にあるものの、国家間の通商問題を巡る緊張の高まりなどにより、先行き不透明な状況にあります。こうした状況を打開するため、政府は、新たな経済対策の策定と、これを実行するための予算編成に着手しており、市といたしましても、そうした動向を十分注視しながら、地域経済の活性化に最善を尽くしてまいります。

先ずは、工業団地に関してであります。今般、地権者との交渉がまとまりましたので、安原異業種工業団地及びいなほ工業団地の拡張整備にかかる用地取得議案をお諮りしておりますほか、安原異業種工業団地につきましては、一部の区画で、道路や下水道等のインフラ環境が概ね整っておりますことから、来月6日より、オーダーメイド方式による分譲予約の申し込みを開始し、進出意欲の高い企業ニーズに応えてまいりたいと考えております。

加えて、先般、本物の文化と最先端技術との融合による新たな価値の創造及び子供達の独創力の育成をコンセプトとした、価値創造拠点の基本設計がまとまりましたので、明年6月の着工をめざし、実施設計の策定に取り組んでまいりますほか、過日、中小企業の振興と経営強化に向けた懇話会を立ち上げたところであり、人手不足や経営者の高齢化、市場のグローバル化等の諸課題の解決策について、議論を重ねてまいります。

さらに、農林水産業の振興に資するため、この7日より、金沢駅百番街において、加賀野菜や金沢の海の幸のPRイベントを開催し、観光客等に魅力を発信してまいりますほか、中央卸売市場につきましては、再整備に向けた将来像等の検討を進めるとともに、明年6月には、取引の規制緩和等を盛り込んだ改正卸売市場法が施行されますことから、これを踏まえた条例改正等の準備に取り組んでいます。

ところで、先般、市内で初めて、野生イノシシからCSF（豚コレラ）ウィルスの感染が確認されました。関係者に速やかに連絡し、捕獲後の適正処理やジビエ利用の自粛等について周知を図るなど、初動体制に万全を期しているところであり、今後とも、国や県との連携を密にしながら、イノシシの捕獲体制の強化を図るなど、感染の拡大防止に取り組んでまいります。

次に、都市の発展基盤の整備に関してであります。金沢駅西広場では、年度末の完成に向けて、安全で快適な歩行環境を創出するシェルターの建設工事が順調に進んでおります。ほか、金沢港では、新たなクルーズターミナルの明年春のオープンをめざし、県と連携し整備を進めています。また、外環状道路海側幹線にありましては、大宮川の橋りょうの上部工事に取りかかりたいと考えており、今回、工事請負契約の締結をお諮りいたしました。

加えて、県立中央病院に隣接する南新保地区では、10月の都市計画決定を受けて、近く、土地区画整理事業組合の設立が予定されておりますので、基本計画等の策定を支援し、地域の特性を生かした環境整備に努めてまいります。

一方、市民や観光客の移動手段として、更なる利便性の向上をめざす、新しい「まちのり」につきましては、利用方法や料金など、運営に関する詳細が決まりましたので、明年3月の利用開始に向けて、準備を進めてまいります。

また、観光客の増加等に伴い、住民とのトラブルが懸念されている管理者不在の簡易宿所等のあり方につきましては、先般、プロジェクト会議に有識者や事業者を招き、住民不安の解消や地域との交流等について、意見交換を行ったところであり、今後、京都市などの事例も参考に対応策を取りまとめ、次の定例月議会に、関係条例の改正案をお諮りしたいと考えております。

次に、文化の振興と交流の促進に関してであります。去る10月に開催した、ユネスコ創造都市ネットワークの分野別会議では、7カ国9都市の参加のもと、工芸分野の各都市が抱える課題等について議論を交わし、この分野の都市間における新たな交流プログラムの提案がなされるなど、各都市にとって有意義な会議となりました。改めて、文化を生かした

まちづくりへの思いを強くしたところであり、会議でも課題とされた、人材の育成強化をはじめ、異分野との交流促進や工芸技術の向上等に資する新たな取り組みについて、現在策定中の「金沢KOGEIアクションプラン（仮称）」の中に盛り込み、その着実な実践に努めるなど、本市が持つ本物の文化の保存・継承と創造・発展に向けて、不断の挑戦を続けてまいります。

また、東京国立近代美術館工芸館につきましては、完成した建物の見学ツアーや、中村記念美術館における京都国立近代美術館所蔵品展の開催などを通じて、東京オリンピック開催前の開館に向けた機運の醸成に努めておりますほか、金沢美術工芸大学の移転整備では、大学と連携しながら実施設計を鋭意進めているところです。

加えて、芸術文化の発信拠点である金沢歌劇座につきましては、現在、懇話会において、求められる役割や機能など将来のあるべき姿について、議論を進めているところであり、これを踏まえ、市としての方向性を検討してまいりたいと考えております。

なお、金沢21世紀美術館にありましては、今月20日から2月3日までの間、リニューアル工事のため休館いたします。総合受付の拡張やコインロッカーの増設、トイレ等の改修を行うなど、受入環境の充実を図ってまいりますので、市民の皆様をはじめ、関係各位にご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願い申し上げます。

一方、先般開催されたラグビーワールドカップにおける日本代表チームの活躍や、選手達のフェアプレーは、私達に幾多の感動と勇気とを与えてくれました。こうしたスポーツの持つ力を地域の発展につなげるべく、開催機運が高まる東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン等の取り組みを、積極的に推進してまいります。

折しも、先月、ロシア飛込連盟との間で、代表チームの事前合宿に関する協定を締結したところであり、フランスの水泳連盟及びウエイトリフティング連盟と併せ、受け入れ体制の整備に万全を期してまいりますとともに、ホストタウン事業を通じた異文化交流やパラリンピックを契機としたユニバーサルデザインの推進など、オリンピック・パラリンピック後を見据えたまちづくりにも取り組んでいきたいと考えております。

加えて、来月15日には、文化ホールにおいて、スポーツ文化ツーリズムシンポジウムが開催されますことから、これを機に、本市独自の取り組みを発信し、大会・イベント等の更なる誘致につなげてまいりますほか、南総合運動公園球技場の人工芝化や城北市民運動公園市民サッカー場の再整備基本設計を鋭意進めるなど、スポーツ文化の推進を加速してまいります。

次に、子供施策に関してであります。次期かなざわ子育て夢プランの年度内の策定に向けて、明日からパブリックコメントを実施いたしますとともに、幼児教育センター（仮称）の機能や役割等について、先般開催した検討会で了承が得られましたことから、明年4月の教育プラザ富樫内での開設に向けた準備を、本格化させてまいりますほか、病児保育の充実に向けて、かねて議論を重ねてきた検討会の意見を踏まえ、明年2月より、保護者負担の軽減につながる訪問型の病後児預かりサービスを、モデル実施することとしております。

加えて、この夏より実施してきた、保育施設等のお散歩コースの緊急点検を踏まえ、今般、安全対策がまとまりましたので、国の支援を受けながら、緊急度の高い箇所から順次、防護柵や路面標示の設置等を進めてまいりますとともに、児童生徒の通学路につきましても、引き続き、警察や地域と連携し、安全の確保に努めてまいります。

一方、教育の面では、中央小学校芳齋分校の改築と、これに併せた特別支援教育サポートセンター（仮称）の整備等に関して、この程、地元の方々の協力を得て、隣接する公民館及び児童館を併設するとともに、消防分団の機械器具置場を移設することで、十分な学校スペースを確保できる見通しとなりましたので、整備に向けた具体の準備に取りかかってまいりますほか、かねてから検討してきた、鞍月共同調理場の代替機能となる新たな共同調理場の設置場所として、先般、旧県央土木総合事務所跡地の用地取得を、県に申し入れたところであり、今後、協議を進めてまいりたいと考えております。

さらに、全国的な課題となっている不登校対策につきましては、近く、市と不登校児童生徒を支援する民間団体等との連絡会を設置することとしており、国から示された基本的な考え方等を踏まえながら、児童生徒の社会的な自立に向けて、連携を図ってまいります。

ところで、再編や統合の議論が必要な公立・公的病院が国から公表されるなど、超高齢社会を見据えた地域の医療体制の構築は、待ったなしの課題となっています。先般開かれた市立病院のあり方検討会では、近隣の医療機関との連携など再整備の方向性について、様々なご意見をいただきましたので、そうしたことも踏まえ、年度内の取りまとめを急いでまいりますほか、診療所等における休日当番医制度につきましては、十分な診療時間が確保できない等の課題がありますことから、10月に立ち上げた検討会の中で、金沢広域急病センターの活用も含め、市民が安心して受診できる診療体制の構築について議論を進めてまいります。

他方、旧町名の復活についてであります。先月復活した金石地区の3つの町名に続き、新たに、金石^{しもでらまち}下寺町、金石^{かみはままち}上浜町、金石^{はままち}浜町、金石^{まつまみまち}松前町及び金石^{おかねまち}御船町の町名復活について、地元の5町会から申し出を受けておりますので、明年度中の復活に向けて、現況調査等にかかる経費をお諮りしております。

また、ガス事業及び発電事業につきましては、検討委員会から「両事業を併せて株式会社に事業譲渡することが適当である」との答申をいただき、現在、パブリックコメントを実施しているところであり、幅広いご意見をいただいた上で、年度内には、今後の経営形態の市としての方針を示してまいりたいと考えております。

一方、先般、障害のある方を対象とした正規職員及び非常勤職員の採用候補者試験を実施し、明年度から任用する運びとなりました。一部の非常勤職員につきましては、希望に応じて、先月から職場に配置しているところであり、今後とも、障害の特性や能力に応じた就労の場を提供し、障害者雇用の更なる促進に努めてまいります。

さて、この一年、市政は各般にわたり順調な進捗をみることができました。とりわけ、令和の時代を迎え、市制施行130周年の節目となる年に、文化の発信と交流の拠点となる谷口吉郎・吉生記念金沢建築館の開館や、卯辰山工芸工房のリニューアルを迎えることができましたことは、大変意義深いことでありました。

これも偏に、関係各位並びに市民の皆様のご協力の賜物であり、深く感謝を申し上げます

とともに、年末・年始を間近に控え、これから明年度予算の編成作業が本格化いたしますことから、まちの魅力を磨き高めるための取り組みはもちろんのこと、直面する課題への対応や将来に向けた布石を着実に打つことに、私をはじめ職員一丸となり、全力を尽してまいります。皆様方の一層のご支援・ご協力を重ねてお願い申し上げます。

【提出議案の説明】

さて、今回提出いたしました補正予算案は、市民生活の安全・安心確保のための経費や、福祉・保健施策等にかかる経費の追加のほか、職員給与費の整理などが主なる内容であり、補正額は、13億8,370万2千円となりました。

先ず、土木・農林水産関係では、先に述べた河川等の災害復旧や浚渫を進めてまいりますほか、経済・環境関係では、都心軸におけるオープンカフェの開設や商店街の活性化事業、住宅用蓄電システムの設置に対する助成枠を追加いたしました。

また、福祉・保健関係では、受給者数の増加に伴う障害者自立支援給付費の追加をはじめ、私立保育所等の防犯対策にかかる整備助成費や運営支援費、風しんの予防対策費等を追加するとともに、市民関係では、金石地区における旧町名復活にかかる経費を計上したほか、教育関係では、旧材木町小学校の校舎解体に向けた実施設計に取りかかることといたしました。

予算以外の議案では、国家公務員等に準じて職員の給与を改正する「職員の給与に関する条例」の一部改正など条例案3件のほか、先に述べた工業団地の拡張整備にかかる財産取得議案など、その他案件5件をお諮りするとともに、過日専決処分した損害賠償の額の決定を報告しております。

以上が議案等の大要でございます。何とぞ慎重にご審議の上、適切なるご決議を賜りますようお願い申し上げます。